

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外语エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	ITスキル		授業形態	演習		
担当教員	菅原 敏夫		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	仙台市主催の「仙台ITセミナー」でMicrosoft Word/Excelの講師経験あり					
テキスト	①Microsoft Excel クイックマスター 基本編 ②2024対応 Excel 表計算処理技能認定試験 3級 問題集					
講義の概要	ワークシートの作成や編集、四則演算や関数の活用、グラフ作成、並べ替えや抽出などを中心に、Excelの基本操作を習得する。 さらに、実用的な活用を通じて業務に役立つ表計算スキルを身につけるとともに、サーティファイ主催「Excel表計算処理技能認定試験3級」の出題範囲を理解し、模擬問題演習を通じて資格取得を目指す。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション、Excel の起動～ブックを閉じる		第1回	練習問題1		
第2回	既存のブックを開く～データの入力		第2回	練習問題2		
第3回	数式の入力～Microsoft Search の使い方		第3回	練習問題3		
第4回	セルの書式設定～行や列の挿入と削除		第4回	模擬問題1		
第5回	表示モードの切り替え～印刷範囲の指定		第5回	模擬問題2		
第6回	グラフの作成～グラフの編集		第6回	模擬問題3		
第7回	図形の作成～ワークシートの管理		第7回	模擬問題4		
第8回	ウィンドウの操作～統計関数		第8回	模擬問題5		
第9回	数学 / 三角関数～日付関数		第9回	模擬問題6		
第10回	リストの作成～テーブル機能		第10回	模擬問題7		
第11回	総合学習問題		第11回	受験プログラム体験用		
第12回	期末試験対策		第12回	期末試験対策		
第13回	前期期末試験		第13回	後期期末試験		
履修上の注意	実習に必要な持ち物(パソコン、USBメモリ、テキスト、筆記用具など)を準備すること (忘れた場合は減点対象とする)					
試験成績の評価基準	規定に準じつつ課題の提出状況と平常点を加味し、実技試験との合計点を評価基準とする (評価の割合分配:平常点20点、課題提出20点、実技試験60点)					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	TOEIC L①		授業形態	演習		
担当教員	藤田 好子		履修年次	2年		
担当学科	共通		グループまたはコース	①		
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		2
実務経験						
テキスト	公式問題集 12 金のフレーズ					
講義の概要	リピーティング、シャドーイングなどの演習を通して安定したリスニング力を身につけ、TOEIC のスコアアップを図る					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション TOEIC サンプル問題 part 1-4		第1回	金のフレーズ summer project		
第2回	金のフレーズテスト ① Test 1 part 1-2		第2回	金のフレーズテスト ① TEST 2 part 1 & 2		
第3回	金のフレーズテスト ② Test 1 part 3 dictation		第3回	金のフレーズテスト ② TEST 2 part 3		
第4回	金のフレーズテスト ③ Test 1 part 4		第4回	金のフレーズテスト ③ TEST 2 part 4		
第5回	金のフレーズテスト ④ part 2 練習問題		第5回	金のフレーズテスト ④ TEST 2 part 1-4		
第6回	金のフレーズテスト ⑤ part 2 練習問題		第6回	金のフレーズテスト ⑤ part 2 練習問題		
第7回	金のフレーズテスト ⑥ part 3 練習問題		第7回	金のフレーズテスト ⑥ part 3 練習問題		
第8回	金のフレーズテスト ⑦ part 4 練習問題		第8回	金のフレーズテスト ⑦ part 4 練習問題		
第9回	TOEIC 模試		第9回	TOEIC 模試		
第10回	TOEIC模試 解説 & 復習		第10回	TOEIC 模試 解説 & 復習		
第11回	金のフレーズテスト review ①		第11回	金のフレーズテスト review ①		
第12回	金のフレーズテスト review ② 期末テスト用		第12回	金のフレーズテスト review ② 期末テスト用		
第13回	前期末試験		第13回	後期末試験		
履修上の注意	金のフレーズを計画的に学習し、各自予習復習をすること					
試験成績の評価基準	筆記試験 80点		平常点 20点			

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	TOEIC L②		授業形態	演習		
担当教員	木川 かやの		履修年次	2年		
担当学科	共通		グループまたはコース		②	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		2
実務経験						
テキスト	①LISTENING UPGRADE FOR THE TOEIC TEST TOEIC LISTENINGテスト パート別徹底演習 ②5minutesドリル TOEIC L&R TEST リスニング					
講義の概要	全分野の復習から実践問題へと進んでいきます。各問題の攻略法。単語テスト。模擬テスト、IPテスト実施。各自の就職先が必要とするTOEICのスコアを目指して行きます。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション		第1回	単語テスト Part4解答の攻略法と実践問題		
第2回	単語テスト Part1解答の攻略法と実践問題		第2回	単語テスト Part4解答の攻略法と実践問題		
第3回	単語テスト Part1解答の攻略法と実践問題		第3回	単語テスト Part1 実践問題		
第4回	単語テスト Part2解答の攻略法と実践問題		第4回	単語テスト Part2 実践問題		
第5回	単語テスト Part2解答の攻略法と実践問題		第5回	単語テスト Part3 実践問題		
第6回	単語テスト Part3解答の攻略法と実践問題		第6回	単語テスト Part4 実践問題		
第7回	単語テスト Part3解答の攻略法と実践問題		第7回	単語テスト 実践問題		
第8回	単語テスト Part3解答の攻略法と実践問題		第8回	単語テスト 実践問題		
第9回	単語テスト Part4解答の攻略法と実践問題		第9回	単語テスト 模擬試験		
第10回	単語テスト 模擬試験		第10回	単語テスト 模擬試験の解説		
第11回	単語テスト 模擬試験の解説		第11回	単語テスト ChristmasをテーマにReading		
第12回	単語テスト 進度調整		第12回	単語テスト 進度調整		
第13回	前期期末試験		第13回	後期期末試験		
履修上の注意	テキスト、英語辞書持参必須。 模擬試験は授業内で実施（6月&12月）。					
試験成績の評価基準	平常点20点、筆記試験80点。					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	TOEIC R①		授業形態	演習		
担当教員	藤田 好子		履修年次	2年		
担当学科	共通		グループまたはコース	①		
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	公式問題集 1 2					
講義の概要	演習を通して Reading part 5, 6, のスコアアップを目的とする。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション TOEIC サンプル問題 part 5, 6		第1回	test 2 part 5 #101-109 解説		
第2回	test 1 part 5 #101-109 解説		第2回	test 2 part 5 #110-123 解説		
第3回	test 1 part 5 #110-123 解説		第3回	TEST 2 part5 #124-130 解説		
第4回	test 1 part 5 # 123-130 解説		第4回	TEST 2 part 6 解説		
第5回	test 1 part 5 通して解く		第5回	TEST 2 part 6 解説		
第6回	test 1 part 6 解説		第6回	練習問題 公式 6		
第7回	test 1 part 6 解説		第7回	練習問題 公式 6		
第8回	test 1 通して復習		第8回	練習問題 公式 4 part 5-6		
第9回	TOEIC 模試		第9回	TOEIC 模試		
第10回	TOEIC模試 解説 & 復習		第10回	TOEIC 模試 解説 & 復習		
第11回	part 5 review 公式5		第11回	練習問題 公式 8		
第12回	part 6 review 公式5		第12回	練習問題 公式 8 通して復習		
第13回	前期末試験		第13回	後期末試験		
履修上の注意	予習復習を計画的に行い、長期休暇期間を有効に利用し各自復習をすること					
試験成績の評価基準	筆記試験 80点		平常点 20点			

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	TOEIC R②		授業形態	演習		
担当教員	木川 かやの		履修年次	2年		
担当学科	共通		グループまたはコース		②	
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	TOEIC L&Rテスト 英文法をひとつひとつわかりやすく。					
講義の概要	全分野の復習から実践問題へと進んでいきます。各問題の攻略法。模擬テスト、IPテスト実施。各自の就職先が必要とするTOEICのスコアを目指して行きます。					
講義の展開計画						
第1回	品詞		第1回	仮定法		
第2回	品詞		第2回	仮定法 分詞		
第3回	代名詞 助動詞		第3回	分詞 受動態		
第4回	助動詞 前置詞 接続詞		第4回	受動態		
第5回	助動詞 前置詞 接続詞		第5回	不定詞		
第6回	時制		第6回	不定詞 動名詞		
第7回	時制		第7回	動名詞		
第8回	時制		第8回	関係代名詞		
第9回	時制		第9回	模擬試験 解説		
第10回	模擬試験		第10回	関係代名詞		
第11回	模擬試験解説		第11回	関係代名詞		
第12回	仮定法		第12回	関係代名詞		
第13回	前期期末試験		第13回	後期期末試験		
履修上の注意	テキスト、英語辞書持参必須。 模擬テストは授業内で実施（6月&12月）。					
試験成績の評価基準	平常点20点、筆記試験80点。					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	TOEIC対策①		授業形態	演習		
担当教員	近江貞子		履修年次	2年		
担当学科	共通		グループまたはコース	①		
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	TOEICテストYBM超実践模試リーディング500問(朝日出版社)					
講義の概要	TOEICのReadingの中で特にPart 7を得点源にするために、1年度で学修した方法を実践を用い、長文問題を解いていきます。精読・音読は勿論のこと、Mini Testやほかのアクティビティ(Word Family Challenge, 一言英作文、頻出語彙ビンゴなどのゲーム etc.) も取り入れながら苦手意識をなくしていきましょう。					
講義の展開計画						
第1回	Orientation: 授業の進め方: 基本文法(品詞と文型、分詞の形容詞用法)の確認		第1回	Grammar Quiz: Mini Test (730), Test 3 Part 7 ①		
第2回	Grammar Quiz: Mini Test (600), Test 1 Part 7 ①		第2回	Grammar Quiz: Mini Test (730), Test 3 Part 7 ②		
第3回	Grammar Quiz: Mini Test (600), Test 1 Part 7 ②		第3回	Grammar Quiz: Mini Test (730), Test 3 Part 7 ③		
第4回	Grammar Quiz: Mini Test (600), Test 1 Part 7 ③		第4回	Grammar Quiz: Mini Test (730), Test 3 Part 7 ④		
第5回	Grammar Quiz: Mini Test (600), Test 1 Part 7 ④		第5回	Grammar Quiz: Mini Test (730), Test 3 Part 7 ⑤		
第6回	Grammar Quiz: Mini Test (600), Test 1 Part 7 ⑤		第6回	Grammar Quiz: Mini Test (800), Test 4 Part 7 ①		
第7回	Grammar Quiz: Mini Test (600), Test 1 Part 7 ①		第7回	Grammar Quiz: Mini Test (800), Test 4 Part 7 ②		
第8回	Grammar Quiz: Mini Test (600), Test 2 Part 7 ②		第8回	Grammar Quiz: Mini Test (800), Test 4 Part 7 ③		
第9回	TOEIC模試解説		第9回	TOEIC模試解説		
第10回	Grammar Quiz: Mini Test (730), Test 2 Part 7 ③		第10回	Grammar Quiz: Mini Test (800), Test 4 Part 7 ④		
第11回	Grammar Quiz: Mini Test (730), Test 2 Part 7 ④		第11回	Grammar Quiz: Mini Test (800), Test 4 Part 7 ⑤		
第12回	Review all, especially of the test parts		第12回	Review all, especially of the test parts		
第13回	self-studying for the exam		第13回	self-studying for the exam		
履修上の注意	上記は進捗状況に合わせて変更もあり得る。Textはやりっぱなしではなく必ず何回も復習すること。質問があればいつでも質問し、分からないままにしておかないようすること。					
試験成績の評価基準	期末試験80%、平常点20%					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校						
科目名	TOEIC対策②			授業形態	演習		
担当教員	大久保 泉			履修年次	2年		
担当学科	共通			グループまたはコース	②		
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	TOEIC R&Lテスト Part7時間内制覇						
講義の概要	TOEICPart7様式に慣れ親しみ、スコアを上げるために必要な英文法、英語を語順のまま理解するスキルを身に付けます。毎回単語テストをします。						
講義の展開計画							
第1回	授業概要			第1回	Unit 4-4 単語・文法構文学習・音読・演習		
第2回	Unit 1-2 単語・文法構文学習・音読・演習			第2回	Unit 5-4 単語・文法構文学習・音読・演習		
第3回	Unit 2-2 単語・文法構文学習・音読・演習			第3回	Unit 6-4 単語・文法構文学習・音読・演習		
第4回	Unit 3-2 単語・文法構文学習・音読・演習			第4回	Unit 7-4 単語・文法構文学習・音読・演習		
第5回	Unit 4-2 単語・文法構文学習・音読・演習			第5回	Unit 7-5 単語・文法構文学習・音読・演習		
第6回	Unit 5-2 単語・文法構文学習・音読・演習			第6回	Unit 7-6 単語・文法構文学習・音読・演習		
第7回	Unit 6-2 単語・文法構文学習・音読・演習			第7回	Unit 7-7 単語・文法構文学習・音読・演習		
第8回	Unit 7-2 単語・文法構文学習・音読・演習			第8回	Unit 7-8 単語・文法構文学習・音読・演習		
第9回	Unit 1-4 単語・文法構文学習・音読・演習			第9回	Unit 7-9 単語・文法構文学習・音読・演習		
第10回	Unit 2-4 単語・文法構文学習・音読・演習			第10回	Unit 7-10 単語・文法構文学習・音読・演習		
第11回	Unit 3-4 単語・文法構文学習・音読・演習			第11回	Unit 7-11 単語・文法構文学習・音読・演習		
第12回	Unit 4-4 単語・文法構文学習・音読・演習			第12回	Unit 7-12 単語・文法構文学習・音読・演習		
第13回	期末試験			第13回	期末試験		
履修上の注意	毎回単語テストの準備をして授業に参加してください。						
試験成績の評価基準	授業への参加姿勢、課題提出状況、期末試験成績を総合的に判断し100点満点で評価する。 (参加姿勢20点、口頭試験20点、期末試験成績60点)						

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	マナー・プロトコール		授業形態	演習		
担当教員	赤間 智美		履修年次	2年		
担当学科	共通		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	マナー・プロトコール検定準1級 及び講師養成講座終了					
テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール検定2級3級問題集					
講義の概要	プロトコールからビジネスマナー、日本のしきたりなどマナー全般について幅広く学び、マナー・プロトコール検定の3級、2級の合格を目指す					
講義の展開計画						
第1回	マナープロトコールの基本 相手を思いやる心		第1回			
第2回	異文化コミュニケーション		第2回			
第3回	プロトコールの決まり (席次、国旗の扱い方)		第3回			
第4回	贈答と手紙のマナー		第4回			
第5回	ビジネスマナー 名刺交換、ビジネスメール		第5回			
第6回	食事のマナー① 和食		第6回			
第7回	食事のマナー② 洋食とお酒		第7回			
第8回	食事のマナー③ 各国料理		第8回			
第9回	日本のしきたり① 結納と結婚		第9回			
第10回	日本のしきたり② 葬儀と法要 通儀礼		第10回			
第11回	日本のしきたり③ 暦と二十四節気 年中行事		第11回			
第12回	パーティーとドレスコード		第12回			
第13回	前期末試験		第13回			
履修上の注意						
試験成績の評価基準	定期試験 (80%) 平常点 (出席・授業態度・課題提出) 20%					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	接客英語		授業形態	演習		
担当教員	青沼 美智子		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	音楽、スポーツ、文化交流等のイベントにおける開催ホテルでの英語接客、案内、通訳					
テキスト	「ホテルの英会話ハンドブック」「ホテルの英会話」					
講義の概要	ホテル、ブライダル業界でのフロント、レストランの案内や対応等ゲストに寄り添った多様な英語表現が自信をもってできるようになること					
講義の展開計画						
第1回	ホスピタリティについて、丁寧な表現		第1回	ルームサービス		
第2回	チェックイン、チェックアウト		第2回	館内案内		
第3回	観光案内		第3回	とっさの対応		
第4回	道案内		第4回	クローク対応		
第5回	公共交通の便		第5回	館外のレストランの予約		
第6回	両替、郵便物		第6回	天気予報		
第7回	宿泊予約の受付(1)		第7回	観光ルートの提案		
第8回	宿泊予約の受付(2)		第8回	日本文化の説明		
第9回	レストランの予約の受付		第9回	温泉、大浴場の説明		
第10回	席への案内		第10回	アメニティーの説明		
第11回	オーダーテイク		第11回	リクエストへの対応		
第12回	会計		第12回	緊急時の対応		
第13回	前期期末試験		第13回	後期期末試験		
履修上の注意	「ホテルの英会話ハンドブック」を基本に、「ホテルの英会話」を応用として使用する					
試験成績の評価基準	出席、授業態度等平常点20点、定期試験の成績80点を評価基準とする					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外语エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	接客英会話		授業形態	演習		
担当教員	Gene. C		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	I studied Business Management at Georgia Gwinnett College and have managerial experience in various establishments. I am also TEFL certified, which has strengthened my communication and leadership skills.					
テキスト	Be My Guest					
講義の概要	To understand, read, write, and speak the English needed to work in the Hotel Industry					
講義の展開計画						
第1回	Introduction to the course		第1回	Unit 7 Room services		
第2回	Unit 1 Introductions		第2回	Unit 8 Problems & Solutions		
第3回	Unit 1 Introductions		第3回	Unit 8 Problems & Solutions		
第4回	Unit 2 The Check-in		第4回	Unit 9 Taking bar orders		
第5回	Unit 2 The Check-in		第5回	Unit 10 In the restaurant 1		
第6回	Unit 3 The Hotel Bedroom		第6回	Unit 11 In the restaurant 2		
第7回	Unit 4 Bathroom & Porter		第7回	Unit 12 Places to visit		
第8回	Unit 5 Services in the Hotel		第8回	Unit 13 Enquiries		
第9回	Unit 5 Services in the Hotel		第9回	Unit 14 Using the phone		
第10回	Unit 6 Location of facilities		第10回	Unit 15 The Check-out		
第11回	Review		第11回	Review		
第12回	Oral Exam		第12回	Oral Exam		
第13回	Written Exam		第13回	Written Exam		
履修上の注意	To pass the class, students need to attend no less than 10 out of 13 classes (80%) and achieve a total score of 60% or higher					
試験成績の評価基準	Class mark/behavior - 20% Oral Exam - 40% Written Exam - 40%					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	手話		授業形態	演習		
担当教員	菅原伸哉/奥山祐子		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験	手話の指導については長年の経験有り。手話での会話を身につけ、聴覚障害者への理解を深めることで、接待のサービスに活かす。					
テキスト	はじめて出会う手話(一般財団法人全日本ろうあ連盟出版)					
講義の概要	手話は日本語とは異なる体系をもつ、ろう者の「目で見える」言語であることを理解し、外国語を学ぶのと同じ姿勢で学習にのぞんでもらう。手の動きに加えて身体や顔の表情を使って表現すること、また手話の技術のみならず、ろう者の文化や生活様式、価値観や習慣なども学習し、接待時の対応に活かす。					
講義の展開計画						
第1回	名前の表し方を覚えましょう(名前を表すいろいろな方法があることを知る)		第1回	自己紹介のまとめ		
第2回	つたえあってみましょう(手の形や動きをよくみて真似る)		第2回	接客手話の基本手話-1(あいさつの手話を覚える)		
第3回	数の表し方を覚えましょう(疑問詞<いつ><いくつ><いくら>を使って会話する)		第3回	接客手話の基本手話-2(あいさつの手話を覚える)		
第4回	家族の表し方を覚えましょう(疑問詞<誰>を使って会話する)		第4回	接客手話の基本手話-3		
第5回	趣味の表し方を覚えましょう		第5回	接客手話の基本手話-4		
第6回	仕事の表し方を覚えましょう		第6回	旅行のことを話しましょう		
第7回	住所の表し方を覚えましょう(地名の手話や交通手段を学ぶ)		第7回	指文字の表し方を覚えましょう-1		
第8回	読み取ってみましょう		第8回	指文字の表し方を覚えましょう-2		
第9回	自己紹介しましょう		第9回	地名の表し方を覚えましょう-1		
第10回	一日/一ヶ月/一年のことを話しましょう		第10回	地名の表し方を覚えましょう-2		
第11回	パーティのことを話しましょう		第11回	表情を工夫して表現してみましょう		
第12回	旅行のことを話しましょう		第12回	動きや形を工夫して表現してみましょう		
第13回	前期試験		第13回	後期試験		
履修上の注意	①楽しみながら手話でコミュニケーションをとることで、能力を高めていく。 ②手話で何が話されているか、理解することが重要であり、表現することをあまり強制せず、まずは「見てわかる」ことが当面の目標である。					
試験成績の評価基準	期末試験・レポート提出・授業態度					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	中国語		授業形態	演習		
担当教員	楊 旭		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		2
実務経験	【国際中国語教師資格】持ち、28年間の学校教学経験と企業中国語研修経験あり					
テキスト	一年生のための中国語					
講義の概要	基本的な中国語文法の習得に特に重点を置き、例文までも含めて4級中国語検定とHSK2級範囲に準拠しています。					
講義の展開計画						
第1回	中国語の特徴と発音基本 (一)		第1回	前期内容の復習 (一)		
第2回	発音基本 (二)		第2回	前期内容の復習 (二)		
第3回	第一課単語発音練習と説明+本文の解説と発音練習		第3回	第八課単語本文読み練習+解説+練習問題		
第4回	復習テストと第一課練習問題、第二課単語発音と説明		第4回	復習テスト第九課単語本文読み練習解説		
第5回	第二課本文の解説+練習問題+第三課単語発音		第5回	第九課練習問題+第十課単語本文読み練習+解説		
第6回	復習テストと第三課本文+練習問題		第6回	復習テスト第十課練習問題+第11課単語本文読み練習+解説		
第7回	復習テストと第四課単語解説+本文読み練習、解説		第7回	HSK2過去問題一		
第8回	復習テスト+第四課練習問題+第五課単語解説		第8回	HSK2過去問題二		
第9回	復習テスト+第五課本文読む練習+練習問題		第9回	HSK2過去問題三		
第10回	復習テスト+第六課単語発音解説+本文読む解説		第10回	第11課練習問題+第12課単語本文読み練習+解説		
第11回	第六課練習問題+第七課単語本文練習問題		第11回	第12課練習問題+第13課単語本文読み練習+練習問題		
第12回	期末復習		第12回	期末復習		
第13回	期末テスト		第13回	期末テスト		
履修上の注意	よく教科書の音声QRコードを聴きましょう					
試験成績の評価基準	平常点20+筆記試験80					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	コンシェルジュサービス		授業形態	演習		
担当教員	阿部 弘枝		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	ホテル接客部門の全般、外客接遇、インバウンドセールス&マーケティング、商品企画等を中心に宿泊及び観光業界でのキャリア20年					
テキスト	自主制作					
講義の概要	宿泊部門の中でも、ゲストの印象やホテルの格付けに大きく影響を及ぼす役割の職種として、近年特に脚光を浴びるコンシェルジュサービスの業務に着目し、業務内容だけに留まらず、その歴史、接客スキル、ホスピタリティーマインドなどを中心に学びます。更に、観光案内スキルアップにも繋げるべく、課外研修や英会話レッスンも取り入れ、国際感覚豊かで実務力あるホテルキャスト育成を目指し、終了時には、グループワークでのコンシェルジュ業務のパフォーマンスができるまでを目指した授業展開					
講義の展開計画						
第1回	講義内容のプレゼンテーションの及びホテルマンの心得—ホテルサービス&接客の基本		第1回			
第2回	コンシェルジュサービスの歴史と日本のコンシェルジュ事情		第2回			
第3回	コンシェルジュサービスの業務内容		第3回			
第4回	ホスピタリティーの基本 (スキル、メンタリティーなど)		第4回			
第5回	コンシェルジュサービスに於けるホスピタリティーとは—マナー演習 (実務中心)		第5回			
第6回	コンシェルジュサービスのための英会話 I 観光と料飲		第6回			
第7回	コンシェルジュサービスのための英会話 II アクティビティ		第7回			
第8回	観光案内関連施設調査学習 (仙台市内、近郊、東北全体)		第8回			
第9回	フィールドワーク 観光施設及びアクティビティなど		第9回			
第10回	観光案内プランニング及びパフォーマンス資料の作成		第10回			
第11回	演習内容を参考にコース作成、添削、資料の提出		第11回			
第12回	資料のまとめ&リハーサル ☆グループワーク		第12回			
第13回	コンシェルジュサービス ロールプレイング及び実務経験		第13回			
履修上の注意	後半は、グループワーク中心なので、リーダーは、各役割の進捗を確認しプレゼンテーションがスムーズになる工夫をする。					
試験成績の評価基準	筆記試験40%、フィールドワーク及びグループ課題への取り組み40%、平常点20%の合計					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校					
科目名	就職試験対策		授業形態	演習		
担当教員	菊池 恭子		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	事業所内人事担当経験（採用に関する一連の業務）					
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナビ2025オフィシャル就活BOOK面接担当者の質問の意図（前年より引き続き使用） ・オリジナルプリント 					
講義の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職活動の面接対策をおこなう 2. 就職活動の振り返り、後輩への資料作成・発表をおこなう 					
講義の展開計画						
第1回	授業の進め方について アンケート記入、面接練習		第1回			
第2回	面接練習（グループ面接）		第2回			
第3回	面接練習（グループ面接）		第3回			
第4回	面接練習（個人面接）		第4回			
第5回	面接練習（個人面接）		第5回			
第6回	後輩に面接について伝えよう(グループワーク)①		第6回			
第7回	後輩に面接について伝えよう(グループワーク)②		第7回			
第8回	後輩に面接について伝えよう(グループワーク)③		第8回			
第9回	後輩に面接について伝えよう(発表)		第9回			
第10回	面接練習（グループ面接）		第10回			
第11回	面接練習（グループ面接）		第11回			
第12回	期末試験対策、授業まとめ		第12回			
第13回	前期末試験		第13回			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時はリクルートスーツ着用 ・面接練習待機中は課題に取り組む、記入した課題は毎授業回収し評価の対象とする ・後輩への発表時期未定のため、授業順番の変動あり 					
試験成績の評価基準	①平常点（出席・授業態度・発表）20点 ②授業内課題20点 ③身だしなみチェック10点 ④期末試験50点 ①～④の合計を成績評価とする					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外语エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	レストランサービス技能検定対策		授業形態	演習		
担当教員	今野 則幸		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	4	後期	—
コマ数/週	前期	2	後期	—		
実務経験	仙台市内ホテルにて（レストランサービス、宴会サービス、フロント、営業）、仙台市内リゾートホテル開業準備室、松島リゾートホテル、東京都内ホテル営業経験					
テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法					
講義の概要	レストランサービス技能検定試験に向けた筆記・実技練習を繰り返し行う。					
講義の展開計画						
第1回	2024年HRS筆記試験問題解答		第1回			
第2回	2024年HRS筆記試験問題解説		第2回			
第3回	2023年HRS筆記試験問題解答		第3回			
第4回	2023年HRS筆記試験問題解説		第4回			
第5回	ランチ・サービス		第5回			
第6回	ランチ・サービス		第6回			
第7回	ランチ・サービス		第7回			
第8回	ランチ・サービス		第8回			
第9回	ブレックファースト・サービス		第9回			
第10回	ブレックファースト・サービス		第10回			
第11回	実技試験		第11回			
第12回	実技試験		第12回			
第13回	実技試験		第13回			
履修上の注意	出席率80%以上であること。各自のサービス練習以外のときでも、サーバー等の練習を行うこと。					
試験成績の評価基準	平常点20% 実技試験80%					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	料飲サービス		授業形態	演習		
担当教員	今野 則幸		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	仙台市内ホテルにて（レストランサービス、宴会サービス、フロント、営業）、仙台市内リゾートホテル開業準備室、松島リゾートホテル、東京都内ホテル営業経験					
テキスト	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル					
講義の概要	レストランサービス技能検定試験に向けた実技練習を繰り返し行う。					
講義の展開計画						
第1回	ランチ・サービス		第1回			
第2回	ランチ・サービス		第2回			
第3回	ランチ・サービス		第3回			
第4回	ランチ・サービス		第4回			
第5回	ブレイクファースト・サービス		第5回			
第6回	ブレイクファースト・サービス		第6回			
第7回	ブレイクファースト・サービス		第7回			
第8回	ブレイクファースト・サービス		第8回			
第9回	ランチ・サービス		第9回			
第10回	ランチ・サービス		第10回			
第11回	実技試験		第11回			
第12回	実技試験		第12回			
第13回	実技試験		第13回			
履修上の注意	出席率80%以上であること。各自のサービス練習以外のときでも、サーバー等の練習を行うこと。					
試験成績の評価基準	平常点20% 実技試験80%					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	観光地理		授業形態	演習		
担当教員	佐藤茂樹		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験						
テキスト	①オリジナルプリント					
講義の概要	観光地の生成・構造・機能について、国内の観光地を取り上げ講義をする。具体的には、観光地の分布、観光資源、観光産業との関係、観光客の特性、観光地の環境保全や世界遺産などに留意しながら、自然地理的資源、人文地理的資源を利用して誕生・発展した観光地についての理解を深める。					
講義の展開計画						
第1回	日本の国土と学びの振り返り		第1回			
第2回	九州地方の地理歴史と学びの振り返り		第2回			
第3回	中国地方の地理歴史と学びの振り返り		第3回			
第4回	四国地方の地理歴史と学びの振り返り		第4回			
第5回	関西地方の地理歴史と学びの振り返り		第5回			
第6回	中部地方の地理歴史と学びの振り返り		第6回			
第7回	北陸地方の地理歴史と学びの振り返り		第7回			
第8回	東海地方の地理歴史と学びの振り返り		第8回			
第9回	関東地方の地理歴史と学びの振り返り		第9回			
第10回	東北地方の地理歴史と学びの振り返り		第10回			
第11回	北海道地方の地理歴史と学びの振り返り		第11回			
第12回	各地域の地理歴史と学びの振り返り		第12回			
第13回	前期末試験		第13回			
履修上の注意	・事前にテキストを活用した予習を行い、授業に参加します。・テキストやPCは、忘れた場合減点対象とする。					
試験成績の評価基準	・出席、授業態度などの平常点も加味し、定期試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価:定期試験80%、平常20%)					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	接客心理		授業形態	演習		
担当教員	豊田 裕子		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	国内大手航空会社客室乗務員。チーフパーサーとして、国内際10年間乗務、マナーやホスピタリティの講座を実施。またキャリアコンサルタントとして、主に若年層への就職支援の授業やセミナー、厚生労働省主催高校生就職活動支援セミナーなどを実施。国家資格キャリアコンサルタント、キャリアディベロップメントアドバイザー資格保有。					
テキスト	オリジナルテキスト					
講義の概要	お客様に選ばれる人は、何をしているのか？特別なことをしているのか？選ばれる人になるために大切なこととは何か？を、自ら考え行動する基本を学びます。 ※進捗状況によっては変更の可能性があります。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション、自己紹介 (1分間)		第1回			
第2回	ホスピタリティマインド		第2回			
第3回	目配り・気配り・心配り		第3回			
第4回	専門学校のラジオCMを作ろう①		第4回			
第5回	専門学校のラジオCMを作ろう②		第5回			
第6回	専門学校のラジオCMを作ろう (発表)		第6回			
第7回	ユニバーサルサービス①		第7回			
第8回	ユニバーサルサービス②		第8回			
第9回	ユニバーサルサービス③		第9回			
第10回	仙台障害者理解サポーター研修		第10回			
第11回	クレーム対応①		第11回			
第12回	クレーム対応②		第12回			
第13回	前期期末試験		第13回			
履修上の注意	●提出物は必ず出すこと ●欠席する際は、必ず事前に連絡すること ●必ず返事などのリアクションをすること					
試験成績の評価基準	プレゼンテーション (20点) 筆記試験 (60点) 平常点 (提出物を含む) (20点)					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	社会情勢		授業形態	演習		
担当教員	菊池 恭子		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験						
テキスト	1. 最強の公務員試験対策[時事本] 2026年度版					
講義の概要	1. 就職試験の時事問題対策 2. サービス業・社会人に必要な教養として、日頃からニュースを意識する習慣を身につける 3. 就職活動対策として、時事問題をテーマにディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションをおこなう					
講義の展開計画						
第1回	・授業内容について ・最近気になったニュースについて(GW)		第1回			
第2回	労働事情 若者の就職と離職		第2回			
第3回	労働事情 ハラスメント対策		第3回			
第4回	国際政治・経済 アメリカ・イスラエルのイラン攻撃		第4回			
第5回	グループワーク テーマを深掘りする①		第5回			
第6回	グループワーク テーマを深掘りする②		第6回			
第7回	グループワーク 発表		第7回			
第8回	日本政治・経済 円安・円高		第8回			
第9回	社会問題 災害対策 社会保障 社会保障給付費		第9回			
第10回	グループワーク テーマを深掘りする①		第10回			
第11回	グループワーク テーマを深掘りする②		第11回			
第12回	グループワーク 発表		第12回			
第13回	前期末テスト		第13回			
履修上の注意	グループワークの取り組み、発表、成果物は評価対象とする					
試験成績の評価基準	平常点20点 (授業態度、欠席等) グループワーク40点 (20点×2回) 筆記試験40点					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	基礎ゼミナール		授業形態	演習		
担当教員	西吉 まゆみ		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期
コマ数/週	前期	1	後期	1		2
実務経験	富士通パソコン教室PCインストラクター (富士通ラーニングメディア認定講師)					
テキスト	30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2021 オリジナルプリント資料					
講義の概要	<p>社会人になる前の実用的なITスキルを通して、ビジネススキルを身につける。 タッチタイピングを定着し、効率よくパソコンを使うことを目指す。 前期は、PowerPointを使用した伝わるプレゼンテーション、デザインテクニックを学ぶ。 後期には、Word・Excelでの実用的な資料作成、ビジネスメールを学ぶ。</p>					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション、スキル・PC環境確認 タッチタイピング		第1回	オリエンテーション プレゼンテーション技能認定試験について		
第2回	プレゼンテーションとは PowerPointの基本操作		第2回	Wordの復習 ビジネス文書の構成、マナー、ビジネスメール		
第3回	プレゼンテーション資料の作成 資料作成テクニック		第3回	ビジネス文書活用 (Word)		
第4回	資料作成演習		第4回	ビジネス文書活用 (Word)		
第5回	プレゼンテーションのデザインテクニック		第5回	ビジネス文書活用 (Word)		
第6回	資料ブラッシュアップ演習		第6回	ビジネス文書活用 (Excel)		
第7回	プレゼンテーション発表テクニック プレゼンテーション課題作成		第7回	ビジネス文書活用 (Excel)		
第8回	プレゼンテーション課題作成		第8回	ビジネス文書活用 (Excel)		
第9回	プレゼンテーション課題作成		第9回	ビジネス文書活用/筆記試験対策		
第10回	プレゼンテーション課題発表		第10回	ビジネス文書活用/筆記試験対策		
第11回	プレゼンテーション課題発表		第11回	ビジネス文書活用/筆記試験対策		
第12回	まとめ・期末試験対策		第12回	後期まとめ・期末試験対策		
第13回	前期期末試験		第13回	後期期末試験		
履修上の注意	PC・USBメモリ・テキストは必ず持参すること。 時間になったらすぐにPCが使用できるよう事前に電源を入れておくこと。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：定期試験80%、平常点20%)					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	日本文化		授業形態	演習		
担当教員	学科担当講師		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期
コマ数/週	前期	—	後期	2		4
実務経験						
テキスト	なし					
講義の概要	茶道・琴・書道を通じて日本文化の「和」の心と美意識を体験的に学び、最終的には自分なりの表現で発信する					
講義の展開計画						
第1回	日本文化とは何かを考える		第14回	他者と合奏してみる体験		
第2回	四季・礼儀・「和」の精神		第15回	書道の基本・道具の説明		
第3回	茶道の歴史と干利休の教え		第16回	筆使いと姿勢・書き初め		
第4回	茶道具と茶室の意味		第17回	季節の言葉や俳句を書く		
第5回	茶の点て方の基本理論		第18回	個性を生かした表現の練習		
第6回	立ち居振る舞いと所作練習		第19回	消しゴムはんこの構想と下絵		
第7回	お点前の実践と客の作法		第20回	彫刻と捺印の実技体験		
第8回	茶道における季節感の表現		第21回	和風絵葉書の制作と書の融合		
第9回	琴の歴史と日本音楽の基礎		第22回	茶道・琴・書をつなぐ「和」		
第10回	琴の構造と音の仕組み		第23回	作品仕上げと展示準備		
第11回	爪の付け方と姿勢を学ぶ		第24回	プレゼンテーションリハーサル		
第12回	音出し練習と簡単な旋律		第25回	作品発表・鑑賞とふりかえり		
第13回	「さくらさくら」を演奏		第26回	後期試験		
履修上の注意	茶道・琴・習字はすべて実技を含みます。動きやすい服装・持ち物の指示に従い、協調性をもって参加してください。継続的な出席が重要です。					
試験成績の評価基準	平常点20% (出席率・受講態度) 課題・実技80%					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	総合演習		授業形態	演習		
担当教員	竹田 裕美		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	後期	単位数	前期	—	後期	2
コマ数/週	前期	—	後期	1		
実務経験	美容室勤務・ヘアセット着付け専門店勤務・結婚式場にてヘアメイク・着付け・撮影・美容師免許取得・メイク検定取得・ネイル検定取得					
テキスト						
講義の概要	2年間学んだ集大成として、結婚式場にて模擬挙式を行うための準備をする。					
講義の展開計画						
第1回			第1回	オリエンテーション・テーマ決め・リーダー決め		
第2回			第2回	役割分担決め・テーマに沿った演出を決める		
第3回			第3回	モデルを決める・ペーパーアイテム考える		
第4回			第4回	コースごとのパフォーマンスを決める		
第5回			第5回	作業・リーダー会場見学(仮)		
第6回			第6回	作業		
第7回			第7回	進行表作成		
第8回			第8回	講師の先生方に招待状を配る		
第9回			第9回	ご両親招待状送付目安		
第10回			第10回	作業		
第11回			第11回	リハーサル		
第12回			第12回	リハーサル		
第13回			第13回	期末テスト・作業		
履修上の注意	配布物は必ず持参すること。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外语エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	ブライダルコーディネート技能検定対策	授業形態	演習			
担当教員	及川 紀恵	履修年次	2年			
担当学科	ホテル学科	グループまたはコース				
履修学期	後期	単位数	前期	-	後期	2
コマ数/週	前期	-	後期	1		
実務経験	ホテル・ゲストハウスにおけるウエディングプランナーの実務、手配業務及びそれに伴う管理業務、婚礼サロンの運営、課内におけるマーケティング業務。コミュニケーション検定上級（サーティファイ認定検定講師） ホテル実務技能検定上級 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーター（第2534号）全日本マナー検定上級					
テキスト	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード					
講義の概要	ブライダルコーディネート技能検定対策					
講義の展開計画						
第1回		第1回	授業の説明・「結婚の定義」			
第2回		第2回	「日本の結婚式」「欧米の結婚式」			
第3回		第3回	「プレウエディング」「挙式」「披露宴」			
第4回		第4回	「ブライダルビジネス」「ブライダル準備」			
第5回		第5回	「コーディネート業務」1			
第6回		第6回	「コーディネート業務」2			
第7回		第7回	「コーディネート業務」3			
第8回		第8回	「コーディネート業務」4			
第9回		第9回	「コーディネート業務」5			
第10回		第10回	「当日業務」			
第11回		第11回	模擬テスト			
第12回		第12回	模擬テスト			
第13回		第13回	期末テスト			
履修上の注意	教科書の解説から問題が解けるよう取り組む					
試験成績の評価基準	期末テスト					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	レセプションコンテスト		授業形態	演習		
担当教員	学科担当講師		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	後期	単位数	前期	—	後期	2
コマ数/週	前期	—	後期	1		
実務経験						
テキスト	オリジナルテキスト、プリント等					
講義の概要	英語、中国語、手話を使い、幅広いフロントサービスの接客技術を磨く。授業最終回には、英語、中国語、手話部門に分かれ、接客スキルを披露するコンテストを行う。					
講義の展開計画						
第1回			第1回	身だしなみ、言葉遣い		
第2回			第2回	基本的業務の確認		
第3回			第3回	レギュラー対応		
第4回			第4回	イレギュラー対応		
第5回			第5回	英語での対応		
第6回			第6回	英語での対応		
第7回			第7回	日本語、英語での対応		
第8回			第8回	中国語での対応		
第9回			第9回	中国語での対応		
第10回			第10回	中国語での対応		
第11回			第11回	手話での対応		
第12回			第12回	手話での対応		
第13回			第13回	コンテスト (英語、中国語、手話)		
履修上の注意	様々な伝達方法を学び、お客様にスムーズで気持ちの良い対応を心がける					
試験成績の評価基準	平常点20% (出席率・受講態度) 期末試験 (実技80%)					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	Global Communication		授業形態	演習		
担当教員	Nina. E		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数/週	前期	1	後期	1		
実務経験						
テキスト	On the Go by Gershon, Mares, & Walker (Pearson Longman)					
講義の概要	Students will learn English with an emphasis on global communication. Students will practice English conversation for international travel, studying abroad, and homestay situations. They will also learn about foreign countries and cultures.					
講義の展開計画						
第1回	Unit 4 Out and About in L.A.		第1回	Unit 8 The Grand Hotel		
第2回	Unit 4 Out and About in L.A. & Activity		第2回	Unit 8 The Grand Hotel & Activity		
第3回	Unit 5 Dining Out		第3回	Unit 9 Bargain Hunting		
第4回	Unit 5 Dining Out & Activity		第4回	Unit 9 Bargain Hunting & Activity		
第5回	Let's Talk About it!: Food		第5回	Let's Talk About it!: Shopping		
第6回	Unit 6 Surf's Up		第6回	Unit 10 Checking In		
第7回	Unit 6 Surf's Up & Activity		第7回	Unit 10 Checking In & Activity		
第8回	Unit 7 Getting Around Town		第8回	Unit 11 A Day Tour		
第9回	Unit 7 Getting Around Town & Activity		第9回	Unit 11 A Day Tour & Activity		
第10回	Let's Talk About it!: Transportation		第10回	Let's Talk About it!: Nationalities		
第11回	Review & Nina's Presentation: Hawaii		第11回	Review & Nina's Presentation: Taipei		
第12回	Presentations: I Want to Visit . . .		第12回	Presentations: One Day of Sightseeing		
第13回	Written Exam		第13回	Written Exam		
履修上の注意	Students are expected to attend at least 80% of classes and score a total of at least 60% to receive credit for this class.					
試験成績の評価基準	Written Examination 50%, Presentation 30%, Class Participation 20% Evaluation of the examinations is based on the students acquisition of the goals set out in the textbook. Attendance, active participation, and attitude will be reflected in class participation marks.					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	アナウンストレーニング		授業形態	演習		
担当教員	赤間 智美		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	民放ラジオ局にアナウンサーとして勤務					
テキスト	なし 適宜資料等をプリントで配布					
講義の概要	1年のときに履修した基本の発音・発声の基礎を元により実践的なアナウンスのトレーニングを行う					
講義の展開計画						
第1回	基本の発声・発音・滑舌の練習		第1回			
第2回	「外郎売」の意味と背景を知る		第2回			
第3回	ブライダルフェアのMCの練習		第3回			
第4回	司会者の基本と心得		第4回			
第5回	ブライダルの進行表の作り方		第5回			
第6回	司会打ち合わせの進め方		第6回			
第7回	結婚式にふさわしい言葉・不適切な言葉		第7回			
第8回	ブライダルMC ① 式典の進行		第8回			
第9回	ブライダルMC ② 効果的な盛り上げ方		第9回			
第10回	ブライダルMC ③ 演出とアドリブ		第10回			
第11回	ブライダルMC ④ 感動的に盛り上げる工夫		第11回			
第12回	友人代表のスピーチ		第12回			
第13回	前期末試験		第13回			
履修上の注意	毎回、授業の冒頭で発声練習をする。					
試験成績の評価基準	期末試験の実技課題 80% 平常点（授業態度・出席率） 20%					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	ブライダルセールス		授業形態	演習		
担当教員	及川 紀恵		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	ホテル・ゲストハウスにおけるウエディングプランナーの実務、手配業務及びそれに伴う管理業務、婚礼サロンの運営、課内におけるマーケティング業務。コミュニケーション検定上級（サーティファイ認定検定講師）ホテル実務技能検定上級 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーター（第2534号）全日本マナー検定上級					
テキスト	オリジナルプリント等					
講義の概要	婚礼マーケティングをリサーチし、商品開発、販売ツールを作成する					
講義の展開計画						
第1回	授業の説明・式場のスペックを設定する		第1回			
第2回	結婚式場を考える 1		第2回			
第3回	結婚式場を考える 2		第3回			
第4回	結婚式場を考える 3		第4回			
第5回	結婚式場を考える 4		第5回			
第6回	プランの販売ツール開発 1		第6回			
第7回	プランの販売ツール開発 2		第7回			
第8回	プランの販売ツール開発 3		第8回			
第9回	お客様の決定		第9回			
第10回	プレゼンテーションの企画 1		第10回			
第11回	プレゼンテーションの企画 2		第11回			
第12回	プレゼンテーションの企画 3		第12回			
第13回	プレゼンテーション		第13回			
履修上の注意	自発的なスケジュール管理・取り組み					
試験成績の評価基準	パフォーマンス・プレゼンテーション・提出物					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	衣裳概論【和装】		授業形態	演習		
担当教員	向井 房子		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	1級着付技能士、きもの文化検定2級、民族衣装文化普及協会指導師範、カラーコーディネーター3級ブライダル着付け、スタジオ撮影着付け歴20年					
テキスト	きもの基本、オリジナルプリント					
講義の概要	着物の基礎知識、婚礼衣裳の基礎知識、着付け技術と着物小物の扱い方、マナーの修得					
講義の展開計画						
第1回	基礎知識 きものや帯の種類と格下着と小物の役割 補整の必要性		第1回			
第2回	補整 襦袢着付け きものたたみ方		第2回			
第3回	きもの着付け		第3回			
第4回	きもの着付け		第4回			
第5回	袋帯の二重太鼓		第5回			
第6回	補整～帯まで		第6回			
第7回	補整～帯まで		第7回			
第8回	振袖		第8回			
第9回	浴衣の着付け		第9回			
第10回	婚礼衣裳の基礎知識 花嫁着付け		第10回			
第11回	花嫁着付け		第11回			
第12回	テストにむけて復習		第12回			
第13回	学科テスト 実技テスト 総評		第13回			
履修上の注意	テキストは必ず持参、相モデル着付けの場合はTシャツ・短パン着用					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し試験得点と平常点の合計を評価基準とする。 (評価：定期試験80%、平常点20%)					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外语エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	トータルプロデュース		授業形態	演習		
担当教員	学科担当講師		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	後期	単位数	前期	－	後期	2
コマ数/週	前期	－	後期	1		
実務経験	美容室勤務・ヘアセット着付け専門店勤務・結婚式場にて前撮りヘアメイク・着付け・美容師免許取得・メイク検定取得・ネイル検定取得					
テキスト	なし					
講義の概要	ブライダルに関わる専門職について学ぶ					
講義の展開計画						
第1回			第1回	結婚式での新郎新婦父母衣装について・着付け		
第2回			第2回	結婚式での新郎新婦父母衣装について・着付け		
第3回			第3回	ヘアアクセサリーの作り方		
第4回			第4回	衣裳		
第5回			第5回	ネイル基礎		
第6回			第6回	ネイル制作		
第7回			第7回	ネイル制作		
第8回			第8回	ブーケ・ブートニア制作		
第9回			第9回	ブーケ・ブートニア制作		
第10回			第10回	ネイル制作		
第11回			第11回	ネイル制作		
第12回			第12回	衣裳		
第13回			第13回	後期試験		
履修上の注意	総合演習との進捗を確認し、情報共有を密にしていくこと					
試験成績の評価基準	平常点20% (出席率・受講態度) 課題・制作・期末試験80%					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	ヘアメイク		授業形態	演習		
担当教員	竹田 裕美		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期
コマ数/週	前期	—	後期	2		4
実務経験	美容室勤務・ヘアセット着付け専門店勤務・結婚式場にてヘアメイク・着付け・撮影・美容師免許取得・メイク検定取得・ネイル検定取得					
テキスト	日本技術メイクアップ検定試験					
講義の概要	ヘアメイクの知識を学び、対人に施術できるようになる。新郎新婦ヘアメイクを学ぶ。					
講義の展開計画						
第1回	準備の仕方		第14回	立ち方やケープのかけ方		
第2回	ヘアセット・ピンの留め方		第15回	メイク・スキンケアの仕方		
第3回	ヘアセット・ピンの留め方		第16回	メイク・ベースメイク		
第4回	ヘアセット・ゴムの結び方		第17回	メイク・ベースメイク		
第5回	ヘアセット・コテの巻き方		第18回	メイク・ポイントメイク(アイメイク)		
第6回	ヘアセット・コテの巻き方		第19回	メイク・ポイントメイク(アイメイク)		
第7回	ヘアセット・編み込み		第20回	メイク・ポイントメイク(アイブロー)		
第8回	ヘアセット・シニヨンの作り方		第21回	メイクポイントメイク(チーク・ハイローライト)		
第9回	ヘアセット・やりたいアレンジを考える		第22回	メイク・仕上げ		
第10回	模擬挙式に向けて		第23回	模擬挙式に向けて		
第11回	模擬挙式に向けて		第24回	模擬挙式に向けて		
第12回	模擬挙式に向けて		第25回	模擬挙式に向けて		
第13回	期末テスト		第26回	期末テスト		
履修上の注意	配布物・コーム・メイク用品は必ず持参すること。					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校					
科目名	カラーコーディネート		授業形態	演習		
担当教員	島 望		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	色彩検定2級 JPFCA認定講師					
テキスト	色彩検定公式テキスト2級編 新配色カード199b					
講義の概要	色彩検定2級合格を目的とした検定対策授業を実施します					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション 色彩3級の振り返り、慣用色名		第1回			
第2回	色のユニバーサルデザイン		第2回			
第3回	光と色		第3回			
第4回	色の表示 色彩心理		第4回			
第5回	色彩調和①		第5回			
第6回	色彩調和②		第6回			
第7回	色彩調和③		第7回			
第8回	配色イメージ ビジュアル		第8回			
第9回	ファッション インテリア		第9回			
第10回	景観色彩		第10回			
第11回	検定・試験対策		第11回			
第12回	検定・試験対策		第12回			
第13回	試験		第13回			
履修上の 注意	公式テキスト、配色カードに加え、のりとはさみも持参すること					
試験成績の 評価基準	出席、授業態度、授業内の小テストなどの平常点も加味し、試験と平常点を評価基準とする (評価：定期試験80点、平常点20点)					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	ホスピタリティ		授業形態	演習		
担当教員	阿部 弘枝		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	ホテル接客部門の全般、外客接遇、インバウンドセールス&マーケティング、商品企画などを中心に、ホテル・観光業界でのキャリア20年					
テキスト	自主制作					
講義の概要	接客の現場で求められる『察する力』と『体現する力』などについて、ロールプレイングや事例研究を通じて習得し、技術だけでなく、マインドについても理解することで、心と技の双方を磨き提供する『おもでなし』についての実務型学習として学びます。					
講義の展開計画						
第1回	ホスピタリティーとサービスの違いについて		第1回			
第2回	第一印象と身だしなみ（メラビアンの法則など） —視覚情報の重要性		第2回			
第3回	美しい所作と立ち居振る舞い（正しい姿勢、歩き方など）		第3回			
第4回	接客のための言葉		第4回			
第5回	非言語コミュニケーション（笑顔、アイコンタクトトレーニング）		第5回			
第6回	ロビーサービス実務		第6回			
第7回	察する力の訓練		第7回			
第8回	料飲サービス基本的実務（レストランサービス中心）		第8回			
第9回	電話対応とインフォメーション業務		第9回			
第10回	コンプレイン、クレーム対応とリカバリー理論		第10回			
第11回	多様なゲストへの対応（ユニバーサル編）		第11回			
第12回	サプライズと感動価値の創造		第12回			
第13回	総括演習 総合的実技試験（グループワーク）		第13回			
履修上の注意	グループ課題については積極的に参加し、実務型学習を目指して下さい					
試験成績の評価基準	実技及びグループワークへの参加の評価50%、授業への参加度合い（出席率や課題提出）50%の合計					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校					
科目名	スタンダードカクテル		授業形態	演習		
担当教員	佐久間 功児		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数/週	前期	1	後期	—		
実務経験	(一社) 日本ホテルパーメンズ協会 / 現役ホテルパーテンダー / カクテルコンクール全国大会出場					
テキスト	①HBAオフィシャルパーテンダーズブック ②厳選 カクテル&Bar手帖 ③オリジナルプリント					
講義の概要	ホテルパーテンダーに必要な基礎的な知識とスタンダードカクテルを作るための調合技術を学習します。					
講義の展開計画						
第1回	◆座学：カクテルを作る道具の種類と名称① ◆実技：パーツールの扱い方		第1回			
第2回	◆座学：カクテルを作る道具の種類と名称② ◆実技：パーツール&グラスの扱い方		第2回			
第3回	◆座学：カクテル調合の基礎知識 ◆実技：「ビルド」「ステア」「シェーク」		第3回			
第4回	◆座学：お酒の基礎知識① ◆実技：カウンターのセッティング		第4回			
第5回	◆座学：お酒の基礎知識② ◆実技：基礎演習とスタンダードカクテル		第5回			
第6回	◆座学：筆記試験 (1) ◆実技：実技試験 (1)		第6回			
第7回	◆座学：筆記試験の総評 座学のみ ◆実技：実技試験の総評 実技のみ		第7回			
第8回	◆座学：お酒の基礎知識③ ◆実技：基礎演習とスタンダードカクテル		第8回			
第9回	◆座学：お酒の基礎知識④ ◆実技：基礎演習とスタンダードカクテル		第9回			
第10回	◆座学：ソフトドリンクの種類 ◆実技：基礎演習とスタンダードカクテル		第10回			
第11回	◆座学：授業のみ 期末試験に向けて ◆実技：スタンダードカクテル演習		第11回			
第12回	◆座学：筆記試験 (2) ◆実技：実技試験 (2)		第12回			
第13回	◆座学：筆記試験の総評 座学のみ ◆実技：実技試験の総評 実技のみ		第13回			
履修上の注意	プリント、テキストを持参してください。座学と実技があります。					
試験成績の評価基準	配点：出席率と授業中の態度 (20点) / 実技試験 (40点) / 筆記試験 (40点) の合計 ※授業中の「居眠り」「私語」は減点します。 ※授業中の設問に対する「挙手」または演習中の「積極的な行動」は加点します。 ※筆記試験の出題範囲は、教科書、プリント、授業中の口頭での解説が範囲となります。					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	ワイン概論		授業形態	演習		
担当教員	佐藤 幸博		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	後期	単位数	前期	—	後期	2
コマ数/週	前期	—	後期	1		
実務経験	仙台市内シティホテルと蔵王のリゾートホテルに勤務経験。その他国税局管轄の研修会講師、カルチャー教室を開催。					
テキスト	オリジナルプリントを作成					
講義の概要	ワイン全般の知識、取り扱い方、サービス方法等の講義					
講義の展開計画						
第1回			第1回	ワインの定義と8000年の歴史		
第2回			第2回	ワインの種類と造り方（醸造のキホン）		
第3回			第3回	ワインの「ボディ」と味わいの表現		
第4回			第4回	白ワインの主要3品種（シャルドネ、ソーヴィニオン・ブラン、リースリング）		
第5回			第5回	赤ワインの主要4品種（カベルネ、メルロー、ピノ・ノワール、シラー）		
第6回			第6回	ワインラベル（エチケット）の読み解き方		
第7回			第7回	ワイングラスの選び方と役割		
第8回			第8回	正しい保存方法と品質管理（劣化の原因を知る）		
第9回			第9回	ワインと料理のペアリング（マリアージュ）基礎		
第10回			第10回	世界の主要産地（旧世界：フランス・イタリア）		
第11回			第11回	世界の主要産地（新世界：チリ・アメリカ・日本）		
第12回			第12回	総復習とレストラン・マナー		
第13回			第13回	期末試験		
履修上の注意	講義対象がアルコール飲料（ワイン）なので取り扱いに要注意					
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し試験得点と平常点の合計を評価基準とする。 （評価：定期試験80%、平常点20%）					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	バーテンダー演習		授業形態	演習		
担当教員	佐久間 功児		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	後期	単位数	前期	—	後期	2
コマ数/週	前期	—	後期	1		
実務経験	(一社) 日本ホテルバーメンズ協会 / 現役ホテルバーテンダー / カクテルコンクール全国大会出場					
テキスト	①HBAオフィシャルバーテンダーズブック ②厳選 カクテル&Bar手帖 ③オリジナルプリント					
講義の概要	ホテルバーテンダーに必要な基礎的な知識とカクテルを作るための基本的な所作と調合方法を習得。実践的なサービスの演習。スタンダードカクテルからオリジナルカクテルを創作するまでの工程を学習。					
講義の展開計画						
第1回			第1回	◆基礎演習 (復習)		
第2回			第2回	◆座学: カクテル調合の基礎と応用① サービス演習①		
第3回			第3回	◆座学: カクテル調合の基礎と応用② サービス演習②		
第4回			第4回	◆座学: お酒の基礎知識 各論・応用編① サービス演習③		
第5回			第5回	◆座学: お酒の基礎知識 各論・応用編② サービス演習④		
第6回			第6回	◆座学: 筆記試験 (1) ◆実技: 実技試験 (1)		
第7回			第7回	◆座学: 筆記試験の総評 座学のみ ◆実技: 実技試験の総評 実技のみ		
第8回			第8回	◆座学: オリジナルカクテルを考えてみよう① 創意図、テーマ、TPO、対象とするゲスト		
第9回			第9回	◆座学: オリジナルカクテルを考えてみよう② 材料の調達方法。調合手順、デコレーション。		
第10回			第10回	◆座学: オリジナルカクテルを考えてみよう③ 材料の調達方法。調合手順、デコレーション。		
第11回			第11回	◆座学: 筆記試験 (2) ◆実技: 実技試験 (2)		
第12回			第12回	◆座学: 筆記試験の総評 座学のみ ◆実技: 実技試験の総評 実技のみ		
第13回			第13回	総合演習にむけた実践的な演習		
履修上の注意	プリント、テキストを持参してください。座学と実技があります。					
試験成績の評価基準	配点: 出席率と授業中の態度 (20点) / 実技試験 (40点) / 筆記試験 (40点) の合計 ※授業中の「居眠り」「私語」は減点します。 ※授業中の設問に対する「挙手」または演習中の「積極的な行動」は加点します。 ※筆記試験の出題範囲は、教科書、プリント、授業中の口頭での解説が範囲となります。					

講義概要 (Syllabus)

2026年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校					
科目名	バンケットサービス		授業形態	演習		
担当教員	今野 則幸		履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科		グループまたはコース			
履修学期	後期	単位数	前期	—	後期	2
コマ数/週	前期	—	後期	1		
実務経験	仙台市内ホテルにて（レストランサービス、宴会サービス、フロント、営業）、仙台市内リゾートホテル開業準備室、松島リゾートホテル、東京都内ホテル営業経験					
テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法					
講義の概要	ホテルにおける宴会部門（一般宴会、ブライダル等）の特長・サービスの知識、及びマーケティングについても学ぶ。					
講義の展開計画						
第1回			第1回	宴会部門の特長		
第2回			第2回	宴会の種類		
第3回			第3回	宴会関連業務		
第4回			第4回	ブライダル		
第5回			第5回	マーケティング（市場調査、分析）		
第6回			第6回	マーケティング（商品企画、販売促進）		
第7回			第7回	グループワーク（ホテルのクリスマスイベント）		
第8回			第8回	グループワーク（ホテルのクリスマスイベント）		
第9回			第9回	グループワーク（プレゼンテーション）		
第10回			第10回	ホテルセールス		
第11回			第11回	グループワーク（自社の強み・弱み）		
第12回			第12回	グループワーク（プレゼンテーション）		
第13回			第13回	筆記試験		
履修上の注意	テキストのほかパワーポイントを使用し授業を行う。ノートを取り、復習及びシラバスを参考に次回の授業に備えること。					
試験成績の評価基準	平常点20%、筆記試験80%					